



百間川、危険氾濫水位を越えていた！

7月豪雨災害を受けて、旭川(大原橋以北)と旭川ダムの管理者である岡山県担当者、さらに旭川(大原橋以南)と百間川の管理者である国土交通省岡山河川事務所と勉強会を持ちました。

そこで得た情報を踏まえ、7月豪雨では、百間川は、旭川ダム(北区)からの毎秒2412トンの放流で、旭川との分流地点である「一の荒手」を整備し、1メートル切り下げたため分流量が増え、危険氾濫水位を超えました。

中区では、百間川の水位上昇による内水氾濫で、多くの地域で浸水がありました。

岡山河川事務所は、百間川への分流の検証結果を公表するので、意見交換をすべきと質問しました。

また岡山市は、岡山県の河川整備計画の進捗を、北区金川、宇垣や牧山クラインガルテンの浸水が繰り返されていることを踏まえ、チェックするべきと質問しました。

下水道河川局長は、「今回新たに設置した県との意見交換の場で定期的に事業の進捗状況を確認してまいりたい。河川事務所との意見交換会において市民の立場からの発言もする。」との答弁がありました。

7月7日午前2時頃雨が小降りにならなかったら、被害はさらに拡大していた！

国、県との勉強会で、私はそう確信しました。旭川ダム放流量はさらに増え、百間川の水位がさらに上昇する可能性があったといえます。旭川と百間川に囲まれた岡山市中区では、防災を最重点に取り組まなければなりません。

新本庁舎に障がい者センターを



新市民会館の建設により取り壊しが予定されている福祉文化会館の障がい者センターを、新市庁舎に取り入れるべきではないか、質問しました。

保健福祉局長は、「岡山市障がい者団体連合会の皆様の意見をお聞きしながら、対応してまいりたい」という答弁でした。

北区役所へ用が来庁目的の85% (注：複数回答)

本庁舎に関する市民アンケート結果によれば、来庁目的は上位から、戸籍・住民・印鑑等の登録や証明書に関することが64.3%、国民健康保険・国民年金に関することが20.7%と、北区役所への用事が85%です。

市民アンケートは、市役所と区役所をごちゃ混ぜにして尋ねています。市民の利便を考えた岡山市の行政サービスの整備という視点を重視し、市民の声を丁寧に反映した本庁舎整備構想が必要です。

スプレー缶のガス抜き 気をつけて！

カセットコンロの出番が増える季節となりました。使用済みスプレー缶の穴あけ作業中に事故が起こるケースがあります。岡山市では、使用済みスプレー缶は、完全に使い切り、風通しのよい火気のいないところで穴をあけてから、資源化物収集日に出すことになっています。20政令市のうち、穴あけが必要なのは岡山市を含め4市だけです。

穴あけをしない方向へ岡山市も舵を切るべきです。

下市このみ事務所からのお知らせ

▼1/15(火) 1月臨時議会

☆野菜市 年内最終販売日 12/26(水)
2019年初売り 1/9(水)

☆下市このみ事務所

年末年始お休み 12/29(土)～1/3(木)

今年もお世話になりました。来年もよろしくお願いします。